

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3146692号
(U3146692)

(45) 発行日 平成20年11月27日(2008.11.27)

(24) 登録日 平成20年11月5日(2008.11.5)

(51) Int.Cl.		F 1			
B 4 2 D	1/00	(2006.01)	B 4 2 D	1/00	A
B 4 2 F	13/06	(2006.01)	B 4 2 F	13/06	C

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2008-6455 (U2008-6455)
 (22) 出願日 平成20年9月12日(2008.9.12)

(73) 実用新案権者 508276202
 山口 幸二
 愛知県宝飯郡小坂井町伊奈南山新田29-43
 (74) 代理人 708000546
 櫻井 正幸
 (72) 考案者 山口 幸二
 愛知県宝飯郡小坂井町伊奈南山新田29-43

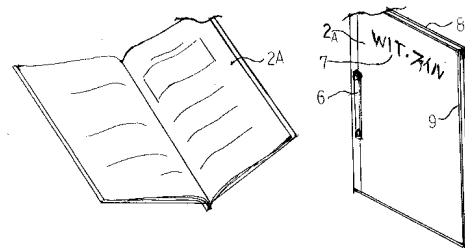
(54) 【考案の名称】 完成した本を小サイズ分割した製本物や印刷物

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】一冊の本を複数冊に分冊し、通学、通勤時の負担を軽くしたり、作業や業務の際のスペースを有効活用できるようにした印刷物を提供する。

【解決手段】完成している教科書やテキストの教材又は雑誌等から複数冊の本において、印刷物を複数枚重ねて表紙を印刷物の文字や図や表や写真等が見えるように薄く、わずかに裁断し、複数冊の本に製本して印刷物とするものである。また、分冊した本に表紙や裏紙や背紙などの外装用品を一切使用しなかったり、背紙のみ貼り付けた印刷物とすることもできる。綴じ具として金属製、プラスチック製、ワイヤ製、綴じ紐などを綴じ代部の穴に通して分冊した本において、一冊の教科書やテキストの教材又は雑誌等を複数冊に製本することもできる。

【選択図】 図3



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

印刷物を複数枚重ねて学校の教科書やテキストの教材又は雑誌等において、綴じ代部を重ねた印刷物の文字や図や写真等が見えるように裁断し、一冊の教科書やテキストの教材又は雑誌等を複数冊に製本することを特徴とした印刷物。

【請求項 2】

請求項 1 において、ファイルや表紙や裏紙や背紙などの外装用品を一切使用しないことを特徴とした印刷物。

【請求項 3】

請求項 1 において、一冊の教科書やテキストの教材又は雑誌等を複数冊に製本する場合、背紙のみ貼り付けたことを特徴とした印刷物。

10

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

印刷物を複数枚重ねて学校の教科書やテキストの教材又は雑誌等において、一枚単位の印刷物を重ねて印刷物の文字や図や写真等が見えるように綴じ代部を貼り付けて、表紙や裏紙や背紙で中味の一枚単位の印刷物を重ねて教科書やテキストの教材又教科書や雑誌等にすることが一般的である。

【背景技術】

【0002】

各種学校の教科書やテキストの教材又は雑誌等を複数冊カバンに入れて満員電車や自動車

20

で通学、通勤することは、重量や容量や厚み等が負担になる。

また、各種学校での授業や会社での業務の際、机やデスクの上の面積が広くかかり、効率低下の一つの原因となっている。要するに当日必要な箇所のみ持っていけば良いのである。

特に、最近では机やデスク上にパソコンを設置することが一般的であるため机やデスクの上の面積が狭くなり教科書やテキストの教材を広げるスペースが足りないことが日常化している。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

30

【0003】

まず、完成本となっている学校の教科書やテキストの教材又は雑誌等は厚くなり、種類の異なる複数の完成本をカバンに入れるには大きな幅の広いカバンを用意しなければならず、完成本に不可価値をつけ学校の教科書やテキストの教材又は雑誌等を重ねた印刷物の文字や図や写真等が見えるように綴じ代部を薄く裁断し、一冊の教科書やテキストの教材又は雑誌等の中身の印刷物を数冊に製本し直す必要性がでてきている。

【0004】

図 1 に示すように、一冊の本を複数冊に分冊して数冊の製本 2 にする際に綴じ代部を薄く裁断 3 してから 2 穴～5 穴の穿孔機（パンチャ）で綴じ代部に穴 4 を設ける。この綴じ代部に開ける穴 4 は小さくする。この際、綴じ代部と反対側の開く面 5 はできるだけ平坦とし、凹凸にならないようにする。

40

【0005】

次に図 2 に示すように、ファイル用事務用品である綴じ具を綴じ代部の穴 4 に通して一冊の教科書やテキストの教材又は雑誌等を複数冊に製本 2 とするための脱着機能化されている。また、不要になるページは最初の本にファイルしてもよい。本のファイル用事務用品（金属製、プラスチック製、ワイヤ製、綴じ紐など）である綴じ具で固定すれば脱着機能化される。

【0006】

上記のように、複数冊に製本して分割した印刷物である分冊本である製本 2 は、図 3 に示すように、事務用品である綴じ具 6 表装すればコンパクトファイル化され厚みの薄い学校

50

の教科書やテキストの教材又は雑誌等になる。この分冊本 2 A に教科書やテキストのタイトル 7 を貼り付けた表紙 9 や背紙 8 を設けることができる。

【 0 0 0 7 】

従って、各種学校の教科書やテキストの教材又は雑誌等を複数冊カバンに入れて満員電車や自動車で通学、通勤することは、通学、通勤時の負担が軽くなり都合が良い。

また、各種学校での授業や会社での業務の際、机やデスクの上の面積を広くとることが出来、さらに作業や業務の効率低下の一つの原因となっていることも解消することが出来る。

【 0 0 0 8 】

(1) 各種学校の教科書やテキストの教材又は雑誌等を複数冊カバンに入れて満員電車や自動車
10

で通学、通勤する際、通学、通勤時の負担を軽くする。

(2) 各種学校での授業や会社での業務の際、机やデスクの上の面積を広くして、作業や業務の効率低下を解消する。

(3) 分冊本とした教科書やテキストを整理する書籍棚や書籍箱の整理、整頓が可能になる。

(4) 厚みの薄い分冊本とするには、機知や知力機能を有する書類綴じとした W I T ・フ
20

ァイル構造にすることが好ましい。そうすることにより機知や知力機能を有することにより、厚みが薄くなるばかりでなく完成本の幅や縦、横のサイズも小さくコンパクトになる。

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 0 9 】

(1) 請求項 1 では、一枚ずつ印刷物を複数枚重ねて表紙を印刷物の文字や図や表や写真
20

等が見えるように薄く、わずかを裁断し、一冊の教科書やテキストの教材又は雑誌等から複数冊の本に製本して製本物や印刷物とするものである。

【 0 0 1 0 】

(2) 請求項 2 では、請求項 1 において、分冊した本に表紙や裏紙や背紙などの外装用品
30

を一切使用しないで印刷物とするものである。従って、厚みが薄くなるばかりでなく完成本の幅や縦、横のサイズも小さくコンパクトになる。

【 0 0 1 1 】

(3) 請求項 3 では、請求項 1 において、一冊の教科書やテキストの教材又は雑誌等を複
30

数冊に製本する場合、背紙のみ貼り付けた幅や縦、横のサイズも小さくコンパクト化された製本物や印刷物である。

【 0 0 1 2 】

(4) また、綴じ具 6 として (金属製、プラスチック製、ワイヤ製、綴じ紐など) を綴じ
40

代部の穴 4 に通して分冊した本の一冊の教科書やテキストの教材又は雑誌等を複数冊に製本 2 することもできる。

【 考案の効果 】

【 0 0 1 3 】

(1) 一冊の本を複数冊に分冊して数冊の本に製本することにより、当日の授業や業務に
40

必要な分冊本のみをカバンに入れて持ち運ぶようにする。

(2) 各種学校での授業や会社での業務の際、必要な分冊本のみを開いたり、机上に置く
50

ため、机やデスクの上の面積を広くして、作業や業務の効率低下を解消できる。

(3) 分冊本とした教科書やテキストは厚みが薄いから、分冊本を整理する書籍棚や書籍箱の整理、整頓が可能になる。

(4) 本考案では、厚い教科書やテキストの教材又は雑誌等の中身の一枚を複写 (コピー)
50

する場合、綴じ代側が複写機の走査ガラス面に密着しないためにコピー面が黒くなり文字等が鮮明にコピーされないことが解消する。

【 考案を実施するための最良の形態 】

【 0 0 1 4 】

学校の教科書やテキストの教材又は雑誌等の一冊の本を複数冊に分冊して厚みの薄い数冊

の製本 2 にすることが本考案の目的である。

まず、図 1 に示すように綴じ代部を薄く裁断 3 してから 2 穴 ~ 5 穴の穿孔機 (パンチャ) で綴じ代部に穴 4 を設ける。この際、綴じ代部と反対側の開く面 5 は平坦としてできるだけ凹凸にならないようにする。

【 0 0 1 5 】

次に図 2 に示すように、分冊本とするためにファイル用事務用品である綴じ具を綴じ代部の穴 4 に通して一冊の教科書やテキストの教材又は雑誌等を複数冊に製本 2 として分冊本とするためのファイル用事務用品である綴じ具で綴じる。

【 0 0 1 6 】

図 3 に示すように、複数冊に製本 2 として分冊本とするためのファイル用事務用品である綴じ具 6 で綴じる。

厚みの薄い学校の教科書やテキストの教材又は雑誌等に作る。この分冊本 2 A に教科書やテキストのタイトル 7 を貼り付けた表紙 9 や裏紙 8 を設けることができる。

このようにして、複数冊に製本して分割した製本物や印刷物である分冊本とした製本 2 を完成できる。

【 産業上の利用可能性 】

【 0 0 1 7 】

(1) 各種学校の教科書やテキストの教材又は雑誌等を複数冊カバンに入れて満員電車や自動車で通学、通勤する際、通学、通勤時の負担を軽くすることができるため、通学、通勤の鉄道や自動車の交通の渋滞の解消に貢献できる。

(2) 各種学校での授業や会社での業務の際、机やデスクの上の面積を広くすることができるから、各種学校や各種会社のスペースを有効活用できる。

(3) 分冊本とした教科書やテキストを整理する書籍棚や書籍箱の整理、整頓が可能になり各種学校や各種会社または住居のスペースを有効活用できる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 8 】

【 図 1 】 綴じ代部に穴を設けた分冊本の斜視図

【 図 2 】 綴じ代部の穴に通すファイル用事務用品の一例

【 図 3 】 厚みの薄い教科書やテキストの教材又は雑誌等の斜視図

【 符号の説明 】

【 0 0 1 9 】

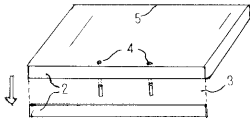
2 ; 製本	3 ; 裁断	4 ; 穴	5 ; 開く面
6 ; 綴じ具	7 ; タイトル	8 ; 裏紙	9 ; 表紙

10

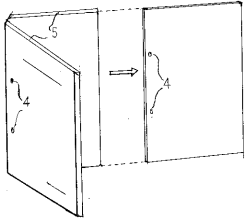
20

30

【 図 1 】



【 図 2 】



【 図 3 】

